

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 総務-18 庁舎管理事務						
主管課	契約検査課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	庁用共通物品の購入、管理及び修繕並びに廃棄物品の処理業務を行う。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	4,133	3,586	3,780			
	(国・県)						
	(負担金等)	200					
	(一般財源)	3,933	3,586	3,780			
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人			
	人件費(千円)	7,579	8,024	8,538			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	11,712	11,610	12,318			
	市民1人当りの経費(円)	66	66	70			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
庁用共通物品の購入、管理、払出し等	○	目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
庁用器具管理事務	4,133	庁用器具管理事務	3,871	今後の方向性	B	理由・手法	庁用共通物品の購入、管理及び修繕並びに廃棄物品の処理業務を行う。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	老化や破損により使用できなくなった机、椅子等の交換を行う。共通封筒に広告を掲載することにより新たな歳入の確保に努める。							
課題解決のための取組	机、椅子等の交換を行うとともに人事異動等による新たな庁用物品の購入、払出しを行った。また、市内企業に対し共通封筒への広告掲載を呼びかけ新たな歳入確保に努めた。					取組の結果	■解決 □未解決	
未解決の課題								
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	引き続き庁用物品の配備・交換を行う。また、引き続き共通封筒への広告を掲載することにより歳入の確保に努める。					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ A		
※□事業完了								

評価者名

契約検査課担当課長

関 淳一

